

2017年度 新体制の活動方針

さて、新体制になってから大きく活動が変わっているように感じていらっしゃる会員が多いのではないのでしょうか。同窓会ですから、基本は学年同窓会やクラス会を支え、母校在校生を支援していくことです。それにプラスして、学年同窓会やクラス会以外にも会員と会員がつながる場を提供し、会員に楽しんで朋友会に参加してもらいたいと考えています。そして、次の世代に引き継ぎやすい、わかりやすい組織をつくりたいと思っています。「(わかりやすい組織を)つくる (会員と会員が) つながる 朋友会」が2017年のモットーです。

関わりたくなる組織運営 “できる人が、できる時に、できることを”

組織はフラット化し、オフィススタッフがサポーターとともに活動をできる形を考えました。オフィススタッフは事務作業の他、広報、イベント等の朋友会の活動のすべてを担当します。サポーターはイベント等に一時的に協力してもらえる会員です。また、なるべく多くの会員に朋友会を知ってもらい、活動に参加してもらえるようにするために、各期代表が総会に出席できるように考えています。

会員をつなげる情報発信 “リアルタイム” “会員が情報提供”

会員の活動や活躍する姿をリアルタイムに知ることで、朋友会の会員同士が動き出し、つながりができて、さらに大きく広がっていくことを新体制は考えています。そのために、情報発信は最重要と考えています。従来の、ホームページでの「ようこそ同窓生」、会報での「人物ハイライト」「LookLook 朋友」のコーナーは会員を紹介する役割を果たしてきました。ホームページ委員や会報委員が一人ひとり取材してきた素晴らしいコーナーであり、会員を知る場となっていました。新体制では、「リアルタイム」「会員が情報提供」をキーワードにして、それらのコーナーをさらに発展することにしました。「今」活動または活躍している会員を紹介し、運営側が取材するのではなく、会員が情報提供できることで、より多くの会員の情報を発信できることを考えました。

参加しやすい場の提供 “楽しい企画”

若い世代ほど会費の納入率がよくないという引継ぎがあり、会費の徴収と使い方についても考えました。新体制では、朋友会が楽しい場を提供し、会員みんながその場に参加しやすくなること、そして、先輩を知り、後輩の役に立てる場があることが、“会員が会費を払いたくなる環境”と考えました。

従いまして、会員の皆様からの貴重な会費は、会員が参加したくなるような楽しい企画を作り、その情報を発信することをメインに活用させていただきます。もちろん、これから朋友会に入会してくる在校生への支援も行います。会費の徴収方法、金額等につきましては、今後検討していきます。

2018年は母校創立110周年です。会員がつながりあい、母校を応援できる大チャンスです。卒業生が集まる場をつくり、卒業生みんなが楽しみ、みんなで母校創立110周年をお祝いしませんか！

2018年10月8日(月・祝)に横須賀芸術劇場にて会員もご家族もだれでも参加できる入場無料の音楽のイベントを行います。会員がこのイベントをキーに横須賀に集まり、新たな出会いや懐かしい出会いを楽しみ、110周年を迎える母校を誇りに思う、そんな時間になることを願っています。

以上